



I -03 受注明細マスター整合処理

受注明細マスター整合の役割

受注入力後に商品・得意先マスターデータを変更した場合、受注データを商品・得意先マスターデータと整合(マッチング)し、マスターデータで受注明細を書き換える事ができます。

処理サイクルは受注入力後に、随時行えます。

①処理区分選択

②展示会选择

③品番を選択

処理 (F)
商品マスター整合 (A)
得意先マスター整合 (B)
商品・得意先整合 (C)
画面印刷 (H)
終了 (X)

受注明細マスター整合 (Win32 NT)

処理 (F) ヘルプ (Z)

受 注 明 細 マ ス タ 整 合 処 理

商品マスター整合

展示会 2018/07 2018/7月展

開始品番

終了品番

開始得意先

終了得意先

☐ 担当者もマスターと整合する ☐ 納期もマスターと整合する

実行 (G)
中止 (B)
終了 (X)

展示会を指定してください。



商品マスター整合

受注入力後商品マスターを変更し、マスター変更内容で受注明細を書き換える場合使用します。

受注入力値で値引き、上代・下代・掛け率変更等を行っている場合、この処理を行う際に注意が必要です。

得意先マスター整合

受注入力後得意先マスターを変更し、マスター変更内容で受注明細を書き換える場合使用します。

得意先マスターの掛け率を修正し、修正後の値が優先される場合は実行します。

担当者についても同様です。

商品・得意先マスター整合

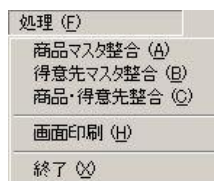
上記、両マスター同時に行う場合使用します。



操作方法

1. 処理

処理区分選択を行う。初期表示は処理区分 未選択です。
メインタイトルバー左上の[処理(F)]をマウスでクリックし、
マスター整合の種類を選択します。



2. 展示会

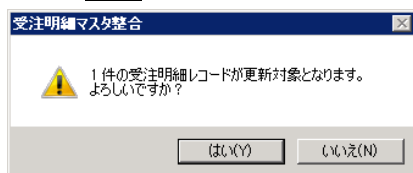
展示会コード最新のものが初期表示されます。
展示会を変更する場合、▼ボタンより展示会コード一覧を表示し、選択します。



- 商品マスター整合または、商品・得意先整合処理を選択した場合、開始・終了品番を指定します。
全受注データに対し、整合する場合は何も指定せず、空白にします。
- 得意先マスター整合または、商品・得意先整合処理を選択した場合、開始・終了得意先を指定します。
全受注データに対し、整合する場合は指定せず、空白にします。
- 営業担当者も整合する場合は「担当者もマスターと整合する」にチェックを入れます。
- 納期も整合する場合は「納期もマスターと整合する」にチェックを入れます。

3. 実行

内容を確認し、[実行]ボタンを押下します。



更新確認画面が表示後、[はい]で受注明細が変更されます。
処理を中止する場合は、[いいえ]を選択します。
更新終了画面が表示されます。

更新終了画面が表示されます。

4. 別のマスター

再度、別のマスターと整合する場合、一旦 [中止]ボタンを押下で画面を初期化し、手順 1.に戻ります。

5. 終了

終了する場合は[終了]ボタンを押下で受注管理メニュー画面に戻ります。

